

チームオレンジ善通寺だより

第7回座談会を開催しました！

令和5年2月8日(水)午後、「第7回チームオレンジ善通寺座談会」を開催し、17名のメンバーが参加されました。今回は地域包括支援センター職員によるミニ講話の後、グループワークを行いました。座談会は3~4カ月に1回の開催ですが、久しぶりに顔を合わせたとは思えないほど、ほっこりとした雰囲気の中、顔なじみのメンバーさんも、はじめましてのメンバーさんも、わいわいとお話を楽しまれていました♪

チームオレンジの活動に関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度座談会をのぞいてみてください♪みなさまのご参加をお待ちしています。

地域包括支援センター職員によるミニ講話

① 認知症ケアパスについて



善通寺市ケアパス⇒



❖ケアパスとは認知症の容態に合わせて、「いつ」「どこで」「どのような医療や介護サービス」が受けられるかといったケアの流れを示したものです。

❖善通寺のケアパスは認知症に関心がある方もない方も、多くの市民が気軽に冊子を手にとれるよう、「在宅医療・介護・認知症情報マップ」として発行しています。

❖ケアパスはあくまで一般的な流れ。個々の状況により介護保険サービスを導入する時期はさまざまです。かかりつけの病院や地域包括支援センターに相談しながら一緒に考えていきましょう。

② 事例紹介



❖関わりのきっかけは民生委員さんからの情報でした。民生委員さんをはじめ、身近な地域での気づきが早期発見・早期対応につながります。

❖デイサービス利用開始時はご近所さんが送り出しをサポートしてくれ、スムーズに出かけることができました。事業所さんも利用が定着するまで柔軟に対応してくれ、今では楽しく通うことができます。

❖介護サービスを利用するようになってからもゴミ出しのサポートや見守り等、引き続きご近所さんの支援があり今後も穏やかに一人暮らしを続けることができます。

❖こんな地域が広がっていくといいなと思っています。

グループワーク

★ご本人や家族が地域に求めることはなんだろう？
★地域の一員として自分にできることはなんだろう？

2つのテーマに沿って各グループ5～6名のメンバーと職員でお話しし、さいごに参加者全員でどんな意見が出たか共有しました。

認知症だが足腰が丈夫で元気な人もいる。
若くても病気で動けない人もいる。年齢に関係なくできることや得意なことを生かして、お互いに支え合うような仕組みづくりができればいいな。
⇒支援される人、支援する人という一方通行の関係性ではなく、それぞれが地域の一員として役割を果たせるといいな。

ヘルパーさんにお買い物を頼むよりも、自分でスーパーに出かけて商品を選びたい！
⇒買い物に付き添ってくれる人がいれば、自分で買い物に行けるのになあ。

畑に出ていると、「あんたの姿が見えたから」と高齢の方が寄ってきた。難聴があるので大きな声で話をしていたら、「楽しそうな声が聞こえたから」ともう一人寄ってきて3人でわいわい話をした。喜んでもらえて自分もうれしくなった。
⇒認知症になるとことばがでにくくなり発語が減ります。会話がかみ合わないで周りから話しかけられることも減り、孤独でさみしい思いをしている認知症の人が多いいわれています。認知症になっても穏やかに生活するためには、心の通った温かな見守りや声かけが大切です。



令和5年度の予定

- ★座談会 6月・8月・11月・2月に開催予定です。
- ★研修会 10月に開催予定です。

善通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）

TEL (0877)63-6364 FAX (0877)63-3778

Mail houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp